

『ババババババ!』 2歳児 1月



エピソード

フェンス越しに工事の様子を見ていた A 児と B 児。「ショベルカーいた」「オレンジ色、動いているね」等と言いながら見ていると、突然 A 児が「バババババ!」と言いました。保育者が「バババババ?」と思わず繰り返して、「バババババって聞こえたの?」と聞くと、笑いながら大きな声で「バババババ!」と頷きました。「ショベルカーの動く音がバババババって聞こえたのかあ、面白いね」と保育者が応答すると、A 児は更に笑います。このやりとりを聞いていた B 児も「バババババ?」と言うので、ショベルカーの音のことだと伝えると「バババババって聞こえたの」と自分に言い聞かせるように呟きました。そして、A 児の方を向いて「バババババ!」。A 児も B 児に向き合って「バババババ!」。2人で顔を見合わせて嬉しそうに笑いました。保育者も同じように「バババババ」と言うとケラケラ笑うA児。ひとしきり声に出して「バババババ」を言い合い、笑った 2 人は、再びショベルカーをじっと見たり保育者を振り返って「バババババ」と言ったりします。保育者が「ショベルカーの音がよく聞こえるね」と言うと A 児はニヤツと笑っていました。

保育者の思い

子どもの育ちや学び

「バババババ?!」面白い響きと勢い!でも、何のことだろう?ショベルカーの音かな、聞いてみよう

聞こえた音を自分なりの言葉で表す

気付いたことを保育者に知らせたいと思う

「ウィーンガシャ」ではなくて、「バババババ」って捉えて面白い!自分の思いが保育者に伝わったことも喜んでいる。

自分の思いが伝わった喜びを味わう

ショベルカーの音の面白さを保育者と共有する

B 児にも A 児の気付きが伝わるように声をかけよう

友達や保育者の姿に興味を持つ

保育者の話を理解しようとする

2人で笑い合って楽しそう。言葉の響きも面白いのだからなあ。友達同士で楽しめるように見守ろう。

ショベルカーの音の面白さ、言葉の響きの面白さを友達と共有する

たくさん笑い合って満足したみたい。でも面白いからか、繰り返してバババババを言っている。保育者が笑って楽しんでいるのも繰り返す要因の一つかな。最後にニヤツと笑う姿は自分の気付きへの誇らしさが詰まっているなあ。

家庭だったら・・・

思わずクスリと笑ってしまうような、子どもならではの捉え方、不思議な言葉…ありませんか?何がそう聞こえたのか、そう感じさせたのかを考えてみると、子どもが楽しんでいるもの、興味を持ったことが見えてくるかもしれません。子どもたちのかわいい言葉や考え方、発見に癒され、驚き、子どもの世界を楽しんでみませんか?